

美保野中学校地区のまとめ
(美保野中・美保野小)

1. 概要

(1) 児童・生徒数（カッコ内は通常学級数）

	6年前		現在		6年後	
	児童生徒数	通常学級数	児童生徒数	通常学級数	児童生徒数	通常学級数
美保野中	11	2	7	2	5	1
美保野小	12	3	7	2	19	3

(2) 部活動

	運動部																文化部												
	陸上	器械体操	水泳	バレーボール	バスケットボール	サッカー	野球	ソフトボール	柔道	剣道	相撲	ソフトテニス	卓球	バドミントン	ハンドボール	新体操	アイスホッケー	スキー	スケート	その他	吹奏楽	合唱	バトン	コンピュータ	科学	美術	家庭	その他	
美保野中 男													○																
美保野中 女																													○文化文芸
美保野小													○ 敷																

(「○」: 部活動、「◎」: スポーツ少年団、愛好会等)

(3) 学区外通学

指定校	学区外	主な就学校	主な理由	備考
美保野中		東中 白銀南中	教育的配慮 距離的理由	金吹沢（鮫町字大草離のみ）は距離的理由で白銀南中に学区外通学可能
美保野小		町畑小 白銀南小 旭ヶ丘小	留守家庭 距離的理由 留守家庭	金吹沢（鮫町字大草離のみ）は距離的理由で白銀南小に学区外通学可能

2. 寄せられた意見

※ 美中 = 美保野中、美小 = 美保野小

区分	意見照会		地域意見交換会															
	結果	記述意見(主なもの)	当日意見・会場アンケート(当)															
1.通学区域	見直すべき 美中 2/9 美小 1/9	①生徒数増加のためにもっと学区を広げてほしい。(美中) ②学区内的人是めて美保野小に入学してほしい。(美小)	当 ①地域に住んでいても実際には学区外で他校に通い、地元の学校に入る子どもが少ないのが調整区域の悩みである。 当 ②東中学区の第二桜ヶ丘町内の方に美保野中学校への就学を奨励できないか。															
2.通学路	注意が必要 美中 6/9 美小 7/9	①歩道・街灯の整備が必要。(共通) ②交通量が多くスピードを出して走る車もあり危険である。(共通) ③民家が少なく危険である。(共通)	当 ①新たに歩道を造ると道路が狭くなるので側溝の上を綺麗にフタして歩けるようにしてほしい。															
3.学校規模 過大:大きすぎる や大:やや大きい 適正:適正である や小:やや小さい 過小:小さすぎる	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>や大</th> <th>適正</th> <th>や小</th> <th>過小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美中</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>美小</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		や大	適正	や小	過小	美中		4	3	2	美小	1	2	3	2	①や大)全校児童8人にしては少し大きい。(美小) ②適正)各教科の先生が揃わなくても、現在いる先生から丁寧に教えてもらっている。(美中) ③や小)学校行事等が大変そうに見える。また、個々の指導では良い半面、競争心に乏しい。(美中) ④過小)生徒が5人しかいないので小さすぎる。(美中) ⑤過小)学区外通学を許可することで地域の子どもが入学してこないことに原因がある。(美小)	当 ①学区外から美保野にきてくれる人は大歓迎であり、学区内の方は美保野に入学してほしい。 当 ②学区を広げたり、教育委員会で本校の就学をPRするなどできないか。
	や大	適正	や小	過小														
美中		4	3	2														
美小	1	2	3	2														
4.部活動	見直すべき 美中 2/9 美小 4/9	①一つの部活動しかなく、やりたい部活ができないのはかわいそうである。(共通) ②文化部を設置してほしい。(美小)																
5.適正配置全般	①是非このすばらしい美保野学区を残してほしい。先人たちの思いを残したい。(美中) ②少人数ならではのメリットを感じている。(美小)		当 ①適正配置の基準がわからない。 当 ②美保野は特別な場所である。この学校がどういう機能を果たしているか、歴史も含めて将来を考えていただきたい。 当 ③良い所も悪い所もあるが、地域は学校を中心に回っている。自分もこの学校を卒業しており、子どもも入学させる予定である。															
6.その他	①美保野・金吹沢地区は市外化調整区域のため家が建てられず入学する子どもが少ない。(美中)		当 ①適正配置以前の問題がこの地域には多い。地域とのきめ細かい行政側の対応が必要である。 当 ②児童クラブとして4年生まで面倒を見てくれれば学区外流出も減るのではないか。															

3. 論点の整理

学校	論点	備考
美保野中	他 ①市内で唯一、中学校で複式学級となっている	・2学級(複式1学級)7人が在籍。 ※平成25年度は生徒数ゼロになる見込。
	②教科の専門教員の確保が難しい	・平成20年度は、受験5教科のうち数学と英語が不在であった。
美保野小	他 ①市内で2番目に小さい学校である	・2学級(複式1学級)7人が在籍。 ※平成22年度は4年生以上が不在
共通	他 ①小・中学校共に複式学級である	・小・中学校を通して複式学級なのは市内で美保野だけである。そのため、いわゆる「過少規模」から一気に大規模な高校へ進学することになる。
	意 ②学校の存続について	・小規模特認校・小中一貫校など学校の存続方法についての意見が既に出ている。

(意:寄せられた意見から導出したもの、他:その他、教育委員会で把握しているもの)